

(参考様式3)

会 議 録

会議の名称	第20期第5回東村山市立公民館運営審議会			
開催日時	令和元年 7月22日 午後6:00～午後7:30			
開催場所	中央公民館 第3集会室			
出席者 及び欠席者	●出席者： (委員) 村上会長、佐藤副会長、岩松委員、栗原委員、角町委員、 森山委員、渡邊委員、永吉委員、杉山委員、小山委員  (市事務局) 田中教育部次長、服部館長、鈴木館長補佐、半井萩山地区館長、 當間秋津地区館長、町田富士見地区館長、小山廻田地区館長、川嶋事業係長、松山主任			
傍聴の可否	可	傍聴不可の場合はその理由	傍聴者数	0
会議次第	1. あいさつ 2. 委嘱状交付 3. 委員紹介、あいさつ 4. 審議事項 (1) 市民講座等の応募状況 5. 報告事項 (1) 平成30年度・令和元年度 ロビーコンサート報告 (2) 平成30年度中央公民館利用者懇談会報告 (3) 令和元年度事業報告 6. その他 (1) 次回日程について			
問い合わせ先	教育部公民館 担当者名 松山 電話番号 042-395-7511 ファクス番号 042-395-7515			
会 議 経 過				
1. あいさつ  ・開会に際して公民館長よりあいさつ  2. 委嘱状交付				

- ・教育部次長より小山委員へ委嘱状の交付

### 3. 委員紹介、あいさつ

- ・各委員・職員より自己紹介及びあいさつ

### 4. 審議事項

#### (1) 市民講座等の応募状況

##### 【事業係長】

審議事項の市民講座等応募状況について説明させていただきます。資料2と資料3を使って説明させていただきます。平成30年度の資料になります。昨年度は14講座市民講座がありました。

##### 【館長補佐】

その前に説明をさせていただきます。前回の公運審で定員があり、定員に対して応募がオーバーしたときはどうするのか、そのフォローはどうするのかというお話が出ました。それに対して平成30年度について定員がこのくらいあり、応募がこのような状態ですというのを今日報告させていただいて、そのなかでこういうやりかたをしているということを事業係長から説明させていただきます。

##### 【事業係長】

「押し花アート」。表の見方としましては、右の方に移っていきますと、何日開催したかということが分るようになっていきます。これは3日間、3回コースということになります。開催した場所が萩山公民館。募集人員が定員24名。それに対して申込者数が27名あったということになります。定員オーバーした数が3名というふうになります。実際に講座を受けた名簿登録人数が27名、男女比は男1名と女25名。平均年齢が次に出ていきます。保育というのが、若いお母様等が来られた時に保育士をシルバー人材センターの方に頼んで就学前のお子さんを見ていただくというもので、その保育を使ったかどうかということになります。たとえばこの押し花アートですと、定員が24名だったのですが、講師の先生に相談し、了解を得られまして27名全員が当選したということになります。この場合は男子が1名、女子が25名なのですが、1名キャンセルがあったということになります。

「数学を楽しむ パート6」。3回コースで、中央公民館で行いました。定員35名のところ38名の申し込みがありました。3名超過して、先生に相談したところ、全員当選ということで了承をいただきました。

「これからはじめる色鉛筆画」は4回コースで、富士見公民館で開催いたしました。定員が16名のところ、28名の申し込みがありました。12名超過。16名の名簿登録人数であります。先生に相談したところ、指導の限界があるとのこと、あとは会場の限界があるとのこと、募集定員と同じ16名で開催したということになります。

「人生100年時代をどう健康に過ごすか」。4回コースで、中央公民館で行いました。定員30名のところ49名の申し込み、19名がオーバーしました。35名の名簿登録となっております。4回のコースの内、4回ともすべて同じ人が受講します。1回目、2回目に楽器を使う講座がありまして、楽器の貸し出しの限度があり、最大

でも35名というお話がありまして、楽器の個数の関係から5名追加をさせていただき35名で登録させていただきました。

「はじめてのステンドグラス」も4回コースで、富士見公民館で開催しました。32名の定員に対して54名の申し込みがありました。22名オーバーしました。32人の名簿登録です。このステンドグラスは非常に細かい作業でありますので、先生の指導の限界と、また美工室を使ったりするのですけれども、会場のキャパから32名となっております。

「初めての太極拳」は4回コースで、廻田公民館で行いました。定員30名で申し込み人数が25名。こちらは定員に満たなかった為25名全員が当選で実施しております。

「住むまちを知る」。4回コースで、萩山公民館で行いました。30名の定員のところ39名の申し込みがあり、9名の超過となっております。これも部屋のキャパシティーの問題があります。この住むまちを知るは全町を対象に始めておりまして、秋津町方面から始まりまして、昨年度は萩山方面の萩山公民館で開催をしております。本年度は廻田方面の住むまちを知るということで、廻田公民館で開催をする予定となっております。全館で開催していく予定となっております。

「筆ペンをきれいに使う」は4回コースで、廻田公民館で行いました。24名の定員、30名の申し込み、6名の超過。24名の名簿登録。これも先生と相談したところ、指導の限度と、部屋のキャパから24名となりました。

「世界のそこを知りたいパート2」。3回コースで中央公民館。定員25名のところ32名の申し込み。定員超過が7名。名簿登録者が25名。これも講師の指導の限度と、部屋のキャパから25名となっております。

「誇れる日本文化と技術を探る」。3回コースの中央公民館。定員25名のところ、30名の申し込み。5名の超過。こちらも講師の指導の限界と、部屋のキャパから25名となっております。

「異常気象を学ぶ」。3回コースの中央公民館。25名の定員で、35名の申し込み。10名の超過がありました。こちらも講師の先生との協議で、指導の限度があるということ、部屋のキャパシティーから25名ということになりました。

「健康ダンスエクササイズ」。これは4回コースで、秋津公民館で行っております。定員25名のところ33名の応募がありました。8名超過。25名の定員だったのですけれども、講師との調整で、比較的広い会場でしたので、33名まで受け入れられるということで全員当選になりました。

「聞く力をきたえる」。3回コースの中央公民館。16名の定員のところ50名の申し込みがありました。34名の超過。聞く力をきたえるというのはコミュニケーション、人の傾聴がテーマでしたので、先生の指導の限度があるということで、16名となっております。

「シニア学級『目指せ！幸齢者！パート7』」。全5回で、秋津公民館。これも5回全員同じ方が受講することになっていきます。30名の定員のところ申し込みが24名、これは定員割れでしたので、全員当選しております。これは平成24年から連続して開催。人気があるということで連続して開催しております。

資料3にいきまして、こちらは主に子ども向けの開催なのですが、夏休みに行っております。「夏休み親子バス見学」。これは市のバスを使って見学に行きます。バスの定員がございますので、27名しか座れません。申し込み者57名のところ、30名超過したのですけれども、バスの定員一杯で実施しております。

「おもしろ科学あそび」。これは中央公民館で行いました。定員25名のところ申し

込み28名。3名の超過で、これも先生と調整いたしまして、全員当選ということになっております。

「はじめてのロボットプログラミング」。中央公民館で定員40名。これは学校でロボットプログラミングが始まるということで、人気があったみたいです。申し込みが109名、超過69名、名簿記載人数40人。これは毎年行っていきたいと考えております。

「声を磨こう」。2回コースの中央公民館。定員55名のところ申し込み93名。38名の超過。これは平成27年から連続して開催しております。非常に人気があるということで、今後も続けていきたいと思っております。

ご覧のように超過があったところは、講師の先生に最大限見られるところは人数を増やしていきたいということでこちらからお願いしまして、人数を増やせるところは増やしております。この講座は前年度に決まった講座を次年度に行うということになっています。テーマは前年度に決まっておりますので、今後決めるものは令和2年度のものになります。予算の関係と部屋のキャパがあり、公民館でばかり部屋を押えてしまいますと他の利用者から苦情が来るといったことがありますので、その辺の調整も必要となってくると思います。

#### 【会長】

ありがとうございました。いま事業係長のほうから全部で18講座についてご説明がありました。これについて質疑に入りたいと思います。質問、あるいは感想などをお願いします。

#### 【委員】

表の見方で疑問があるのですが、名簿登録人数と男女数に差があるのですがこれはどういったことでしょうか。

#### 【事業係長】

これは途中でキャンセルされた方などがいらっしゃいますので、その辺りの調整があります。

#### 【委員】

ではそれは男女別に入れていないということですね。

#### 【公民館長】

名簿登録人数と、その横の男女比についてなのですが、実際の参加者数ということで男女に入っております。例えば12番の健康ダンスエクササイズは、8人の定員超過で講師と調整をして、全員当選で33人ということでスタートしているのですが、実際には29人ということで、4名の方が途中で辞退された形になっています。こういった運動系は出てみて、高齢者の方が71.58歳の平均年齢なので、体力が続かないということで辞退される方が出るなどします。キャンセル待ちの方がいらっしゃらなかったのは幸いだったのですが、例えば9番の世界のそこを知りたいパート2は実際には24人しか参加してなく、1名キャンセルをされてしまっています。今後の課題としては、いかにキャンセルによる他の方にも参加していただけた枠が残ったまま講座が進行してしまったというのをなくしていく、ということになると私も考えております。あとは先ほど事業係長のほうからもありましたが、講師と調整して全員当選する、なるべく参加者を多くするという取り組みをしています。例えば資料

3の3番はじめてのロボットプログラミングは、定員の倍以上の方に涙を飲んでいただいているのですが、こういった応募の多い講座については翌年度も開催することで、たとえば小学校2年生の子が落選しても、小学校3年、4年とまだチャンスがある、そういうことでなるべく多くの希望者に参加してもらえよう私ども取り組んでいるところでございます。

**【会長】**

ありがとうございました。なにかございましたらお願いします。

**【委員】**

ありがとうございました。最大限受け入れる努力をされているというところが良いと思い聞いていました。男女比を調べたのですが大体見たら1対2でした。113人对246人なので、資料2では男性もかなりの方が参加されています。資料3を見ても42人と98人なので、1対2くらいなので、男性一人につき女性二人と考えると男性の方も利用しているのだなというのがイメージとしてありました。

今キャンセルをなるべくなくすようにと館長さんがおっしゃっていましたが、なるべく多く受け入れた中でキャンセルが出るというのはいたしかたない面もあると思います。絶対に来て下さいというのも困ると思うのです。受ける側からするとハードルが高い。一回受けた以上来ないといけない、休まないで下さいと言われると、申し込まないと思うような気もします。その兼ね合いが難しいように思いました。

あとは、公民館が全部押えてしまうと苦情が来るという話が気になっています。市民講座はすべてが資料に載っていますか？特徴的なものですか？

**【事業係長】**

特徴的なものではなく全部です。

**【委員】**

公民館が押えてしまうと、お部屋を借りている人たちから苦情が来るという話はとてもいろいろなところで聞きます。それと多分関係してくるのですけれども、使った後、それがどのくらいサークル化して公民館を使う人になっているのかというのが気になります。あとは苦情が来るというところをどう解決していくのか、ということは公運審でも話し合えることなのかなと思います。公民館の役割として、講座をやったその先があるわけではないですか。講座をやった人が学んで納得して終わりではなくて、講座をやった人が学んで地域に返していったり、サークルを作っていたり、公民館の仕事としてこういったことがすごく大切なことだと話し合いができればいいと思います。パチっと切るということではないということは、とても良いと思い聞いていました。ありがとうございました。

**【会長】**

今の話で、例えば資料3のはじめてのロボットプログラミング。一生懸命申し込んだけれども漏れる人がいる、それを次の年に救っていくという話がありました。こういうケアをしているわけですから、一生懸命やっていく姿勢はこれで良いのではないかと思います。それこそ限度があるわけですから、このままで行くしか出来ないかもしれないかもしれませんが、是非、いまのそういう体制で臨んでいくのがよろしいと私も思っております。他に何か質問でもあればお願いします。

**【委員】**

今、会長のおっしゃいましたはじめてのロボットプログラミングなのですが、中央公民館で1回だけということですが、市内全域5地区で開催をしてお子さんを募ったりできるという気がします。年に1回中央公民館だけだと地区館の学校のお子さんたちが参加できない気がします。そのあたりは職員の間では話題が出ていないでしょうか。講師の方の都合などの問題も？

**【事業係長】**

それもやはりございます。講師の方もうちで5回押えるということになりますので日程を押えるという難しさも出てくるかなと思います。

**【委員】**

私のイメージとしては、今年は中央公民館とどこかの地区館、来年は中央公民館とどこかの地区館というふうな、そういうものです。高学年は中央公民館まで来られますが、多分低学年だと中央公民館までなかなか来られないと思います。

**【事業係長】**

1年に5回ということではなく、それであれば可能と考えます。

**【委員】**

そういったことを検討していただけると低学年の子を救えるのではないかと思います。

**【事業係長】**

参考にさせていただきます。

**【会長】**

いいお話ですね。いまの方法でしたら出来ないことはないでしょう。

**【公民館長】**

講師ともう一回くらい、どこかの地区館でやってもらうのは可能かと、打合せの際に尋ねてみたいと思います。

**【委員】**

抽選に漏れてしまった子が、来年度も募集するといった場合、落選した子を優先して参加できるように配慮するなど、そういったことはあるのでしょうか。

**【事業係長】**

先ほど館長からございましたが、毎年度これから開催していきますということで、そちらに申し込んでいただいて、と今はなっております。

**【委員】**

今年落ちてしまった、また来年も落ちてしまったということになると、前向きに頑張ろうと思っている気持ちを摘んでしまうのではないかとということが心配になってしまいました。ですので、そういったことを配慮していただきたいと思いました。

**【委員】**

こういったときに前に受かった人を優先しない、そういった配慮とかはどうですか。初めての方を配慮するといったような抽選といますか。

**【事業係長】**

公平性、公共性を考えると、今のようなオープンの方のやり方がいいのかというのはちょっとあります。人を絞っていくというのも一つの考えだと思いますけれども。

**【委員】**

抽選はどのような方法ですか。

**【事業係長】**

公開抽選ですので、公民館に来ていらっしゃるお客様に引いていただきます。

**【委員】**

募集をかけるときに、この講座は初回の方だけが応募できます、2回目以降の応募は出来ませんという形で書いておいて、あとは子どもなので素直にもう一回やったからと申しこまないような気がするところに賭けるしかないと思います。初めての人が楽しむような講座なので、2回目以降は遠慮していただいてというふうに。次のステップがあればいいかもしれませんが。

**【事業係長】**

そうやって子どもを絞っていくとなると、同じテーマを何年もやっていくようになるかもしれないです。お子さんにとってはもっとステップアップしていく講義もしてほしいという子もいるかもしれませんし。

**【委員】**

皆が平等になると同じ講義になってしまうので、前回経験者はご遠慮くださいと書くのはどうかと思いました。続いてよいでしょうか。プログラミング教育が学校で始まるからということで、他市でも人気だと伺っています。なので、講師がなかなか見つけづらくなっているという話は他でも聞いたことはあります。そういったことは学校ではどうなのでしょう。公民館でプログラミングに関する講座を子ども向けに開くということは、どのようなふうにお受け取りされているのか、どうでしょうか。

**【委員】**

正直なところ、プログラミング教育が来年度から小学校でも入ってくるのですけれども、教える側の教員のほうにはそういうノウハウがないので、今まさに研修していかなくてはいけないところです。ですから公民館でこういった講座をやってくださるのは有り難い、補ってくれているというところです。東村山市の公民館以外でも、多摩六都科学館など、いろいろな出前事業のようなことをやっていて、こちらも子供たちの関心が高く応募が多いです。いろいろなところでやっていて、ありがたいなという感覚です。

**【会長】**

講師を探すのが大変と言っていますね。簡単にはいないのですよね。今話題になっているのは、申し込んでも当たらないこと、なかなかいい方法がないかも分らない。

毎年やるから新鮮さがあるけれども、去年からやっているからと言ってそれを譲るべきともいえない。なかなか難しい。やっぱりその時点で新鮮さがなくなるという面もある。そうするといまお話しされたように初回やった人は出来るだけ遠慮するというやりかたもあるだろうけれども、段階を踏むのか。これはいずれにしてもできるだけ救われるような形で検討してみてください。気持ちとしてはそういう気持ちでお願いしたいのだけれども、難しい面はありますので、よろしくをお願いします。

【公民館長】

はい。

【会長】

ほかになにか？

【委員】

先生方を対象にした講座をしたほうが、そこから子どもたちにひろがっていくのではないのでしょうか。

【会長】

私も考えました。いまの発言のようなことは頭をかすめていますか。

【事業係長】

先生方もお忙しいかとは思いますが、もし先生方対象となると夜間になると思います。

【委員】

もしできたらすごいですね。

【会長】

これもまだ始まったばかりですので、そのうち良い方法が出てくるのではないのでしょうか。

【委員】

少なくとも大人にも需要はあるということですよ。親も気になると思います。先生もそうだと思いますが。

【委員】

いいのでしょうか、ただ教員向けについては教員研修があります。

【会長】

教員は参加していますか？

【委員】

実態はまだ把握しきれませんが、英語が始まる時には各学校30時間というような研修をしたりしているので、その部分は公民館のほうで補完しなくても大丈夫かと思えます。



**【会長】**

ではほかにありますか？

**【委員】**

別の観点からすると13番、聞く力をきたえるが倍率が一番高く3倍というところで、そうすると残り34名の方は可哀そうだったなど、救済措置のところにも関わってくるのですけれども、たくさん応募があったのだから、来年度も開催したほうがいいねとか、何を言わんかとする、令和2年度の講座選定の時にこのデータがあると参考になると思います。決めるときにデータを提供していただければと思います。

**【会長】**

こういうふうに表示するのは初めてですよ。今まで確かに口頭では聞いております。この表はすごく分ります。これがあれば私たちにも良いですね。出していただければ非常に助かります。ほかにありませんでしょうか？では審議事項はこれで終わりにします。

**5. 報告事項**

**(1) 平成30年度・令和元年度ロビーコンサート報告**

**【館長補佐】**

ロビーコンサートのこと、利用者懇談会のことについて簡単ではありますが報告させていただきます。

ロビーコンサートは、施設の有効利用というのがスタートになっております。展示室を展示だけではなく、他の用途でも使えないかという話から、私が公民館に来る前から始まっています。毎年1回から2回ほど行って、一般公募をしています。30年度には2回しました。それぞれ参加団体が来ています。

もうひとつは庶務係でこれをやっているという点があります。事業ではなくて、施設の有効利用、利用団体の育成ということが目的にあります。いくつかの団体は、みんなが歌って盛り上げの手助けをするというような、団体もあります。練習していることを発表する場がない、発表したいけれどもなかなか上手になっていない、そういったところをサポートしたり、会に元気がないから元気をつけたい、それを手助けするという主旨で開催しています。市民文化祭に出演したり、自分たちの団体でホールを借りるような団体もちろんありますけれども、そこに焦点を当ててではなく、やはり団体サークルの育成ということでやっております。

展示室は利用頻度が高くなってまいりまして、ロビーコンサートをやってしまうと今度は展示が出来ないという逆転現象が起きてきています。今度はランチコンサートという形でやろうと企画をしています。いま、利用者が多く喫茶スペースを広げています。2階の学習スペースも広げています。利用者が多くなっている、1階の喫茶コーナーの一角を使ってコンサートをやろうと思っています。そのかわり1団体か2団体が気軽にやれるようなやり方に変えようということで、今企画を練っているところです。最初は展示室の有効利用ということから始まって、今は利用団体の育成と活動の場を広げるという形のロビーコンサートを行わせていただいております。今年度もあと何回かできればよいと思っております。

**【会長】**

2階のロビーは何に使っているのですか？

**【館長補佐】**

メインとしては27年度の改修工事の時に中高校生の居場所づくりということで、学習スペース、グループ学習、自主学習をするスペースとなりました。夏休み期間中は中高生が優先で、大人の方は遠慮してくださいというかたちになっています。夕方からになりますが、小学生や中学生がみんなできて、おしゃべりしながらグループ学習します。図書館であると静かにしなくてはいけないけれど、ここであれば少しぐらいお茶を飲みながらおしゃべりをしながらやれるようなスペースになっていますので、そういった利用が非常に多くなっています。日中は色々な方が勉強していらっしゃいます。パソコンを開いている方もいるし、本を開いている方もいるし、大人の方の学習スペースといったかたちになっています。図書館は本当に静かにしなくてはいけないけれども、ここはもう少し自由度が大きい。基本は中高校生の居場所づくり、学習スペースというかたちですが、その延長線で2階のスペースはそのような利用をしています。

(2) 平成30年度中央公民館利用者懇談会

**【館長補佐】**

利用者懇談会の方は各公民館で行っております。平成26年度のときには一堂に利用団体が中央公民館に集まって利用者懇談会をやっていました。28年度以降各公民館において利用者の声を聴くというかたちで進めております。中央公民館の場合は年1回しかやれていませんけれども、それほど参加団体は多くありません。以前にやった時にはいろいろな苦情が多かったです。利用者懇談会は苦情を言う場に、そして謝る場になっていました。今はそうではなく、会の活動が順調なところもそうではないところもあって、私たちの団体はこういったことをやっているという紹介などをする場になっています。

あとは定期的に部屋を使いたいということは言われます。なかなか毎週水曜日の午前中に第三集会室を使いたいというような場合、そううまくは当選しない。レクリエーションルームの倍率が高いのですが、1区分に20団体ぐらいが競合してしまうということがあります。そればかりは仕方ないところもあるのですが、そういうご意見は頂いています。

メンバーの高齢化という話も出ます。あとは活動内容が特殊でメンバーがなかなか集められない、そういうお話も出ていました。抽選予約と随時予約についてもご意見いただきました。ほとんど順調な活動をされている団体が多いというのが今回の利用者懇談会の印象です。簡単ですけれどもロビーコンサートと利用者懇談会の報告にさせていただきます。

**【会長】**

ありがとうございました。それでは今の報告事項でなにかありましたらよろしくお願ひします。

**【委員】**

ロビーコンサートなのですが、市民を対象とした場の提供ということで良い活動だと思います。参加する場合、お金はかかるのですか。

**【館長補佐】**

お金はかかりません。

**【委員】**

さきほどの館長補佐の話で、演奏の水準も様々であるというのが気になりました。お金を取って、市民の皆さんに聴いて下さいという団体だけでなく、生きがいの場、活動の場を提供するという意味もあるのかなと感じました。来月ここでみんなで発表できるよと、そうすると緊張しながらそれに向けて練習する、そういう場を提供するのが必要なかと思います。

**【館長補佐】**

表現が上手くなかったのかもしれませんが、皆さま方が練習する機会がなかなかなくて、けれども発表する場を練習にしたい、というような方が多い。みんなで支え合いながらやりたい、そういうようなことを最初から言われて参加されている方たちもいらっしやいます。

**【委員】**

聴きに来る方は多いのですか？関係者だけになってしまうのでしょうか？

**【館長補佐】**

公民館のホールを使うと、歌う人たちも衣装を着けて、それなりの格好でステージに立ちますけれど、この場合だとそれほど凝らなくてもいいようなかたちになっています。友達に気軽に来てくださいと、ひとりの人がひとりを連れてくるような形のコンサートになっています。あと通りがかりの人が随分聴いていって下さいます。立ち止まって見ていく方、聴いていく方と、非常に入れかわり立ちかわり多いです。

**【委員】**

若者の街だとストリートパフォーマンスなんかがたくさんありますが、そんなムードで少しでも、公民館でなんかやっているよと、通りすがりの買い物袋を持った方などに来てもらおうと文化の街になる気がします。

**【公民館長】**

よろしいでしょうか。今回記載がないのですが7月10日のコンサートはランチタイムに行いましたので、喫茶コーナーを利用されているお客様も演奏会の音楽に耳を傾けました。そういう意味で、館長補佐の申し上げた、通りがかりの人たち、喫茶コーナー利用者も耳を傾けてくれたので、効果がありました。

**【委員】**

私も育成はとても良いと思い聞いていました。展示室の利用率が上がったので、小さい単位で行っていくというふうなお話でしたか？

**【館長補佐】**

展示室をロビーコンサートで使ってしまうと一日使えなくなります。そうすると一週間使いたい団体が、その間を使えなくなるから回数を減らしたりとか、その週をやめようとか、そういうご意見をいただいてしまいました。一階ロビーのソファをどかすと、そういうコンサートが出来るスペースになるだろうと思っています。

**【委員】**

そうすると場所を移してということですね。

**【館長補佐】**

そうです。演奏場所を喫茶コーナー側に移してやりたい。

**【委員】**

利用者懇談会が8団体12名の参加でした。ロビーコンサートの団体数を見たら明らかに8より多いので、この方々がロビーコンサートにどのようなかたちで参加しているのかというのが気になりました。公民館祭りとかであったら実行委員会形式などで、住民の皆さんが作っていく、そこで集まることによりつながりが出来て広がっていく、というのがあると思います。このロビーコンサートがどのような形式で、全部お膳立てして、この日の何時からやってくださいね、というかたちなのか、もしかしたら最初の顔合わせと反省会位はあるのか、せめてそれがあるとお互いにこういう団体があって、つながりがあるというのが、公民館が公民館らしくなる、学ぶだけではなくて繋がっていく、広がっていくということができるので、公民館が押えると苦情が来るというのが減るような気がするのですが、公民館がどのようなところかというのを、集まってもらった顔合わせの時、反省会の時に、公民館はただ場所を貸すだけではないのですよ、という話が出来ると良いと思います。

**【館長補佐】**

顔合わせはやっております。前半出演する団体が会場準備、後半出場する団体が会場の片付け、そういうふうに参加型でやっております。司会についても最初の挨拶だけは公民館側ですけれども、あとの司会進行についてはそれぞれの団体が次の団体をとというようなやり方です。

**【委員】**

終わってから反省会が1回あると、こんなことがあったと話し合えて、お互いに最初は大変だと思いますが良いと思います。別日でも構いませんし、少し検討してほしいと思いました。

**(3) 令和元年度事業報告**

**【会長】**

それでは令和元年度事業報告に入ります。

**【事業係長】**

資料1に沿ってご説明いたします。資料1の上のほうは令和元年度の4月から6月の完了した分です。下のほうは7月から9月の予定になっております。裏面も7月から9月のものになっております。

まず市民講座ですけれども「グレン先生の日常英会話」を開催いたしました。こちらは副会長さんにも出席いただきました。ありがとうございます。来年はオリンピックイヤーということで、外国人がたくさんくるということで日常の英会話が出来ればいいねということで、始まりました。このサークルは20名の定員で応募が44名、20名の受講者になっております。平均年齢63.9歳です。この講座の講師の先生

は秋津公民館の英会話サークルで活動されているスマイルイングリッシュの講師の先生をお招きして実施しました。ネイティブなカナダ人の方で、発音もちろんネイティブなので、参加者には非常に喜ばれておりました。全4回で30代から80代の受講者がいました。応募締め切り後もかなり問い合わせが多くありました。市民の英会話ニーズが多いと感じておりました。1回目から授業は主に英語で進められておりましたので、1回目は受講者の方々も緊張しながら始まりました。しかし先生が丁寧に優しく進めてくださいますので、生徒の皆さまも理解して英語に取り組んでおりました。全体的に出席率も良く、みな積極的に英語を楽しんで、最終的にはどんどん声が大きくなってきて、楽しみながら会話をされておりました。最終日にはサークルの立ち上げのお話も出ておりましたので、市民講座自体公民館の活性化と地域の交流とサークルの立ち上げを目的としておりますので、その点は成功だと思えました。副会長、なにかございますか？

### 【委員】

どういうふうに教えていただけるのだろうと思ったらいきなり英語で雑談されていて、ずっと早口英語で喋っていて、よくわからなくて、英語をずっと喋っているのを聞くのが1年ぶりくらいなものですから、なにを言っているのかさっぱり分からなくて、大丈夫かなという不安がありました。だんだんと回を重ねるに従って、耳が慣れてきて、1週間に1度でもずっと日本語ではなくて英語を聞くということは非常に大切だなと思えました。もっと学びたいという人とか、積極的にサークルを立ち上げたというかたがいると聞いて、すごいと思えました。折を見てまた参加したいと思えます。参加した人の世話役の人がいまして、写真が好きということで、パネルをうちに飾るのだけれども使いませんかという話をいただいて、思わぬ展開もあって楽しかったです。どうもお世話になりました。

### 【事業係長】

ありがとうございます。

続きまして「健康体操 自彊術」です。これは自彊術普及会の講師をお招きしました。廻田公民館で活動されている先生になります。20名の定員のところ38名の応募がありました。出席率も大変よく盛況でした。自彊術は健康体操だけではなくて治療体術というものもあるそうなのですけれども、今回は治療を目的としたものではなくて、医療行為に該当しない部分で行いました。自彊術は全部で31の体の動かし方がありまして、4回のコースで少しずつ学んでいきました。高齢の方には厳しい動作もあったのですけれども、講師の方が冗談を交えて教えて下さり終始和やかに進みました。いまやっている動作がどんなところに効くかという説明をして下さったり、この体操はどういうところにツボがあるかということなど詳しく説明して下さいましたので、みなさんも関心を持って受けておりました。

続きまして「エクササイズ&リズムダンス」です。30名の定員のところちょうど応募30名でやりました。富士見公民館で開催いたしました。こちらも富士見公民館でサークル活動されているエクササイズの講師をお迎えして、ポップスに合わせて筋力トレーニングでオリジナルダンスを完成させていく講座を開催しました。30代から90代の受講がありました。さすがにエクササイズはかなり激しい運動ですので90代の方は途中でリタイアしてしまいました。80代の方もリタイアされたかたもいらっしやいます。1回目からかなり動きのあるリズムダンスで始まりましたので、普段運動されていない方にとっては厳しいと感じるダンスでありました。比較的激しい

ダンスでしたので30名の定員でしたけれども、最終日には脱落していった21名になってしまいました。しかし最終日には講師のされているサークルに体験の申し込みもありまして次につながっていったかと思います。

### 【委員】

思い出したのでよいでしょうか。グレン先生は絵が上手なのです。漢字も書けて、難しい漢字を書いたりして、視覚的にも分りやすく教えていただきました。他の方も可能ならばぜひ行ってみてください。

### 【事業係長】

グレン先生は学校でも教えたことがある先生でもいらっしゃいます。

次が寄席でして、今年度の最初は6月1日に秋津公民館で土曜寄席を行いました。非常に盛況で78名の来場者がありました。私も初めて土曜寄席を受け持ったのですが、みなさん帰り際に楽しかったと言っていて非常に喜ばしく思っております。

続きまして「知的障害者青年学級（かめのご学級）」であります。4月から6月まで4回しております。今年は学級生18名でスタートになりました。今年度の特徴として、いままでやっていなかったのですが、市民にかめのご学級があるということをしてPRして、市民の方も一緒に参加して知的障害の方と交流をしていただきたいということで、スポーツ系の事業で参加者募集をしたところです。4月21日にあったユニカールが第1回目で、募集したところ親子計2名の参加がありました。裏面に「リアル野球盤」というのがありますが、7月7日にありまして、こちらには市民の方が9名参加していただいて非常に賑やかに開催されました。障害がある方との交流が図れたと思います。また、春のウォーキングは葛西臨海公園へ行ってまいりました。電車を使うことに慣れていない方もいらっしゃるのですが、トラブルなく行ってこられました。バスの社会科見学はシャトレゼ、山梨の白州の工場へ行ってまいりました。当日は梅雨に入った時だったのですが、現地はちょうど雨が降らないでお天気だったので大変助かりました。学級生たちもアイスの試食が出来たので大変喜んでおりました。

7月から9月の予定であります。「はじめての俳句」はもうスタートしているのですが39名の応募がありました。テレビの影響もあるのかもしれませんが、俳句に対してこれだけの反響があったということになります。

「住むまちを知る」はいま募集をかけているところです。結構な問い合わせもきております。こちらは毎年同じテーマで各町を巡っております。今年は廻田町方面です。廻田、多摩湖方面をテーマに開催して、3日目はまち歩きを計画しております。まちの文化財等を見て歩いて、回田小学校の屋上からまちを見るということも考えております。回田小学校は高台にありますので非常に見晴らしが良いということで計画をしております。

その他、明日から「夏休みの映画会」が始まります。小学校はまだ授業があるということで、来年は開催時期を考えなくてはいけないと思っております。あとは「夏休み親子バス見学」であるとか、「おもしろ科学あそび」を計画しています。おもしろ科学あそびはすでに定員オーバーするぐらいの応募が来ております。かめのご学級で「ハーバリウム」というのがありますが、今年は新規の入級生に来ていただきたいということで、先日清瀬特別支援学校へお伺いしまして、対象の高校三年生へPRのプリントを先生に配っていただきました。

ホール公演事業の「笑顔あふれるまち土曜寄席 in 廻田」。先週の土曜日にあったの

で、まだ集計を出していないのですが、70名くらいの方に来ていただき、会場がいっぱいになっておりました。

あとは「東村山フレッシュコンサート」であるとか、キッズ伝統芸能「三味線」の予定がございます。7月から9月の分につきましては次回の公運審で報告をしたいと考えております。以上です。

**【会長】**

いまのことで、なにかございますか。

**【委員】**

質問がございます。市民講座の3つめ、エクササイズ&リズムダンスなのですが、対象が市内に在住、在勤、在学ですね。時間帯としては何時にやっていたか？

**【事業係長】**

平日の2時から4時です。

**【委員】**

オリジナルダンスを作り上げるというもので、在学がはいっているのであれば中高生が好きそうであると思いました。平日の2時から4時であると厳しいですね。ちょっともったいないと思いました。

**【会長】**

ほかになにかありますか？

**【委員】**

かめのご学級で、先ほど清瀬特別支援学校に案内をしに行くと聞きましたが、もともとどういった方法で参加者を募っていたのですか？

**【事業係長】**

市報やホームページ、張り紙、あとは作業所が市内にありますのでそういったところを通じて募集をしています。かめのご学級に来ている方は作業所に行っている方が多いので、そのつながりなどで来ている方が多いです。かめのご学級の学級生も平均年齢が高齢化しておりまして、若い方がなかなか入ってこないというのがありますので、今回清瀬の特別支援学校に声をかけさせていただきました。

**【会長】**

ありがとうございました。ほかになにかございますか？それでは、これで報告事項は終わりにします。

6. その他

(1) 次回日程について

**【会長】**

今回は10月7日月曜日、18時より中央公民館にて開催いたします。本日は、ありがとうございました。

